

ウィンチケットミッドナイトG3は、9月8日、10日の日程で、大阪競輪場において開催される。共同通信社杯の出場選手は不在ながら、グランドスラムの新田祐大をはじめとして、小原太樹、吉田有希、山田諒、坂口晃輔らG戦線で活躍している健脚がそろい、熾烈なV争いが繰り広げられる3日間だ。今年3人目のミッドナイトG3覇者になるのは、果たして誰？

昨年の後期は4回の失格を喫し、今期は2班の新田祐大だが、グランドスラムーとしての輝きは失っていない。サマーナイトは③②②③③着と確定板入り3回、8月はF1戦ながら平、岸和田と6連勝を達成している。ワールドクラスのスピードは相変わらずだし、立ち回りは俊敏で、立ち遅れ

る場面は少ない。ミッドナイトG3は2月小松島に参戦していて①②着。決勝は判断が難しい流れになって優勝は逃がしたものの、3日間連を外していない。今シリーズは快速を遺憾なく發揮して主役を演じる。同県の伏見俊昭が新田とタッグを組む。新田とは2月松戸で3日間連係していて⑤②②着。準決、決勝と新田に食い下がり福島ワンツーを決めている。オールスターは2日目からの補充参戦ながら⑥②①着と2連対。最近の伸びは申し分ないの



で、新田の仕掛け次第では逆転を望める。

戦歴上位の小原太樹も有力な優勝候補のひとり。5月宇都宮記念で3つ目のG3Vを手にとると、7月佐世保では3連勝。ビッグレースではサマーナイトで準決にコマを進め、オールスターは最終日に1勝をあげている。ここは南関勢の上位陣は自力型が手薄なので、自力も視野に入れた総力戦とみたが、メンバー構成次第では吉田有希を目標もありそうだ。その吉田は、直近4カ月の決まり手は9割超が逃げ。相変わらず徹底先行で奮戦している。しばらくVから見離されているものの、オールスターの一次予選では、松本貴、村田祐らを相手に先行して3着に粘っている。妻の追加あっせんも好材料となる。



が頼りにするのは山田諒だ。昨年は5Vを達成したのに対し、今年はまだVがないのは物足りないが、オールスターの最終日は、G1初勝利をゲットしている。自力自在の持ち味発揮なら好勝負に持ち込める。

中笠章成、東口善朋の近畿勢も差はない。長欠明け直後はあと一歩で勝ち上がれない場所が続いていた中笠ながら、ここに来て調子を上げてきた。7月名古屋を②②②着、同月京王閣G3は⑧①③着、8月大宮②③

③着と3場所続けて決勝で確定板入り。トップスピード、加速力には素晴らしいものがあるので、一発の魅力を秘めている。東口も8月西武園①②着、同月岸和田では強い内容で優勝して、調子は上向き。

底力ある小川真太郎も侮れない。ウィナーズカップ、ダービー、オールスターでは、いずれも一次予選で―着を取っている。まくり兼備の差し脚は鋭く、展開がもつれるようだとい怖い。近況一息だが、レース巧者の香川雄介が小川に続く。



2025.9/8 Mon .9 Tue .10 Wed

ワンチケット
ミッドナイト
GIII



小原太樹

主力選手プロフィール							
							
新田 祐大 ニッパウダイ 39	中釜 肇成 ナカガマトシマサ 28	東口 善朗 ヒガシグチヨシヒロ 46	山田 諒 ヤマダリョウ 26	小原 太樹 オハラタイキ 37	吉田 有希 ヨシダユウキ 23	伏見 俊昭 フシミシュンショウ 49	
90期 S2	113期 S1	85期 S1	113期 S1	95期 S1	119期 S1	75期 S1	
110.85 111.57 110.85	108.78 106.92 109.92	108.40 107.88 109.40	107.33 107.86 107.25	111.24 111.30 111.43	108.00 106.83 108.59	108.62 107.67 108.93	
② ① ① 8	⑥ ⑤ ③ 15	① ① ① 4	⑥ ⑧ ⑧ 11	① ① ② 12	⑥ ⑤ ③ 3	① ① ① 4	
							
73 93 32 52 18 25 6 14	59 76 25 13 14 13 0 0	44 58 60 58 65 71 0 1	55 69 43 66 6 2 1 1	50 62 71 61 3 9 0 3	71 74 23 0 3 0 13 0	43 57 131 52 65 13 0 12	
⑥ ① ① 0	① ① ① 0	② ② ① 0	① ② ② 1	① ② ② 1	③ ③ ① 0	① ① ① 0	
							
出走 37 13月4期338	出走 39 8月4期2	出走 37 7月4期330	出走 34 6月4期339	出走 42 16月5期28	出走 42 6月4期243	出走 38 14月4期340	
① ① ① ① ④ ⑧ ④ ① ⑤ ① ① ①	① ① ① ① ③ ① ① ① ④ ② ① ①	① ① ① ① ④ ① ① ① ⑤ ① ① ①	① ① ① ① ⑧ ① ③ ① ⑥ ⑧ ④ ①	① ① ① ① ② ② ② ① ② ② ① ①	① ① ① ① ⑤ ① ① ① ⑨ ② ④ ①	① ① ① ① ④ ① ① ① ④ ② ⑤ ①	
7月 70 4月 平 1 第 338	6月 69 97 2 1 日 2	7月 65 5月 ① ① 第 330	5月 59 5月 9 ③ 第 339	16月 59 5月 ① ③ 第 28	6月 59 5月 ① ③ 第 243	7月 59 5月 ① ③ 第 340	
① ① ① ① ② ① ① ①	③ ③ ③ ③ ② ③ ③ ③	① ① ① ① ④ ① ① ① ⑤ ① ① ①	① ① ① ① ③ ③ ③ ③ ② ② ① ①	① ① ① ① ② ② ② ② ② ② ① ①	① ① ① ① ② ② ② ② ① ② ② ②	① ① ① ① ② ② ② ② ④ ② ④ ①	
8月 7月 室 室 室 1 1 ③ ③ ③	7月 7月 室 室 室 ② ② ③ ③ ③	7月 7月 7月 7月 室 ④ ④ ③ ③ ③	7月 室 室 室 室 室 ⑦ ⑦ ④ ④ ④	7月 6月 室 室 室 ⑦ ⑦ ④ ④ ④	7月 7月 室 室 室 ② ② ③ ③ ③	7月 7月 室 室 室 ⑦ ⑦ ④ ④ ④	
① ① ① ① ① ⑦ ③ ③	① ① ① ① ① ③ ③ ③	① ① ① ① ① ④ ④ ④	② ② ② ② ② ④ ④ ④	① ① ① ① ① ④ ④ ④	② ② ② ② ② ③ ③ ③	① ① ① ① ① ④ ④ ④	
8月 室 室 室 室 室 ① ① ② ② ②	8月 室 室 室 室 室 ③ ③ ③ ③ ③	8月 室 室 室 室 室 ② ② ③ ③ ③	8月 室 室 室 室 室 ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤	8月 室 室 室 室 室 ④ ④ ④ ④ ④	9月 室 室 室 室 室 ③ ③ ③ ③ ③	8月 室 室 室 室 室 ④ ④ ⑤ ⑤ ⑤	
① ① ① ① ② ② ② ②	③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	① ① ② ② ① ③ ③ ③	① ① ① ① ① ⑤ ⑤ ⑤	② ② ② ② ② ④ ④ ④	③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④	① ① ① ① ① ⑤ ⑤ ⑤	
1883万	1275万	2015万	1719万	3231万	2107万	1949万	

ウィンチケットミッドナイトG3 出場予定選手

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
S1	伏見俊昭	福島	75 期	108.62	S2	堀兼壽	岐阜	105 期	95.73
S1	香川雄介	香川	76 期	109.00	S2	築田一輝	静岡	107 期	108.00
S1	東口善朋	和歌山	85 期	108.40	S2	中西大	和歌山	107 期	100.95
S1	山賀雅仁	千葉	87 期	105.40	S2	照井拓成	岩手	115 期	97.96
S1	吉本卓仁	福岡	89 期	105.83	S2	齋木翔多	静岡	115 期	100.54
S1	片岡迪之	岡山	93 期	105.97	S2	村上竜馬	広島	115 期	92.90
S1	不破将登	岐阜	94 期	99.41	S2	立部楓真	佐賀	115 期	104.67
S1	小原太樹	神奈川	95 期	111.24	S2	秋本耀太郎	栃木	117 期	96.59
S1	坂口晃輔	三重	95 期	107.05	S2	橋本優己	岐阜	117 期	103.50
S1	磯田旭	栃木	96 期	104.23	S2	真鍋頭汰	三重	121 期	93.96
S1	永澤剛	青森	91 期	105.88	S2	松崎広太	茨城	123 期	104.95
S1	小川真太郎	徳島	107 期	109.20	S2	青木瑞樹	岡山	123 期	100.74
S1	林慶次郎	福岡	111 期	105.57	S2	梶原海斗	福岡	123 期	104.52
S1	山田諒	岐阜	113 期	107.33	S2	小川三士郎	徳島	125 期	99.36
S1	中釜章成	大阪	113 期	108.78	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
S1	吉田有希	茨城	119 期	108.00	ガールズケイリン				
S2	青井賢治	徳島	81 期	95.44	L1	東美月	兵庫	124 期	49.23
S2	友定祐己	岡山	82 期	101.03	L1	熊谷芽繪	岩手	124 期	53.48
S2	西田雅志	広島	82 期	98.52	L1	荒川ひかり	茨城	110 期	50.67
S2	川口直人	神奈川	84 期	93.72	L1	長澤彩	福岡	106 期	50.59
S2	小橋秀幸	青森	85 期	99.00	L1	比嘉真梨代	沖縄	114 期	50.29
S2	高原仁志	徳島	85 期	99.68	L1	三森彩桜	福島	116 期	50.10
S2	三宅裕武	三重	88 期	94.35	L1	高本美穂	熊本	124 期	45.00
S2	新田祐大	福島	90 期	110.85	L1	増田夕華	岐阜	118 期	52.75
S2	朝倉佳弘	東京	90 期	104.04	L1	山本さくら	愛知	120 期	47.92
S2	城幸弘	山梨	96 期	96.53	L1	吉川美穂	和歌山	120 期	55.86
S2	古川尚耶	栃木	92 期	94.30	L1	竹野百香	三重	124 期	54.55
S2	鷺田幸司	福井	92 期	99.46	L1	加藤恵	青森	112 期	49.48
S2	山口貴弘	佐賀	92 期	101.89	L1	半田水晶	茨城	128 期	52.55
S2	水谷好宏	大阪	93 期	99.17	L1	酒井亜樹	大阪	128 期	57.00
S2	加賀山淳	千葉	94 期	91.75					
S2	中田雄喜	福島	97 期	101.28					
S2	鈴木謙二	東京	97 期	90.11					
S2	橋本智昭	宮城	99 期	102.90					
S2	佐藤健太	福岡	101 期	99.96					

※2025年09月05日現在

小川 三士郎 (徳島/125期)

7月名古屋でS級特進を達成したばかりだが、8月富山記念2②⑦②着、同月奈良1②⑦着とスピードはS級でも通用している。持ち前の先行力を発揮して予選は主力になるし、準決でも好勝負が期待できる。



築田 一輝 (静岡/107期)

6月四日市G3でVをゲット。その後もF1戦は優参が多く、直近4カ月の競走得点は108点近くまであげている。今のデキなら上位戦でも好位置をキープして自力を出せば勝ち負けに持ち込める。



吉本 卓仁 (福岡/89期)

ほとんど自力は出さなくなったものの、差し脚の伸びは悪くない。オールスターでは2走目に選抜戦ながら1勝をあげると、8月高知の準決でも勝ち星をゲット。好位置にあるレースは目が離せない。



ガールズケイリン

目が離せない新鋭・酒井亜樹

出場予定選手詳細

選手名	所属	期数	出走回数	出走順位	出走時間	出走順位	出走時間	出走順位	出走時間
長澤 彩	ナガサキ	106期	128期	128期	128期	128期	128期	128期	128期
酒井 亜樹	サカイ	128期	128期	128期	128期	128期	128期	128期	128期
吉川 美穂	ヨシガワ	120期	124期	124期	124期	124期	124期	124期	124期
竹野 百香	タケノ	124期	124期	124期	124期	124期	124期	124期	124期
増田 夕華	マサダ	118期	128期	128期	128期	128期	128期	128期	128期
半田 水晶	ハンダ	128期	128期	128期	128期	128期	128期	128期	128期
熊谷 芽織	クマタ	124期	124期	124期	124期	124期	124期	124期	124期

主役に期待されるのは新鋭の酒井亜樹だ。酒井は7月静岡で尾崎睦らと戦って12②着だった以外はデビューから全て勝っている。ナショナルチームの一員としての活動も本格化していて、全日本選手権ではチームスプリントで金、スプリントで銅、ケイリン4位の成績を残した。まくりが得意でそこまで仕掛けが早いタイプではないので、集中力高くレースの流れに乗っていったの自力攻撃で快速ぶりを発揮する。

同じく新人から半田水晶の走りも楽しみ。7月取手で奥井迪らを完封する逃げ切りVで前評判通りの先行力を見せ付け、直近の8月小倉も1②着と久米詩に次ぐ準V。総合力では酒井に見劣りするものの、陸上競技で鍛えた瞬発力は強烈で、踏み出しで後続を離して逃げまくる競走スタイルは他にないものだ。ライバルの酒井だけでなく、グランプリ経験者の吉川美穂、パールカップで決勝3着の竹野百香ら一線級の警戒も突破して力を出し切れるかは見ものとなる。



酒井 亜樹



吉川 美穂

新人2人を倒すとすればやはり吉川しかない。ビッグレースで結果を出してきた頃に比べると迫力に欠ける近況だが、8月別府では山原さくらを破って優勝とかなり持ち直してきている。以前は中距離ナショナルチームに所属していた実力者で、スピードが上がるレースは大歓迎。そのスピードを貰って伸びてくる。

熊谷芽織はオールスターこそ527着とトップの壁に跳ね返されたが、8月弥彦では吉川らを破ってV。続く9月前橋も3日間逃げて12③着。予選1では奥井迪を封じた。初対戦の酒井、半田にも簡単には負けられない。

竹野は地元ホームで絶対に譲れないところ。先行基本の積極策から走りの幅を広げて結果を出してきたが、8月弥彦で落車した影響が意外と尾を引いている。前記の小倉では予選1、2で半田に完敗してデビュー直後以来の最終日一般戦を走る屈辱を味わった。ここまでは状態を戻し、力負けしない走りを見せたい。

増田夕華も流れに応じた柔軟な走り着をまとめている。夫婦あっせんで力倍増となるか。